

第34回IEEJエネルギーウェビナー（速報解説）

2022年7月21日

バイデン米大統領の中東歴訪

JIME-IEE JAPAN
Twitter: @JIMECenter

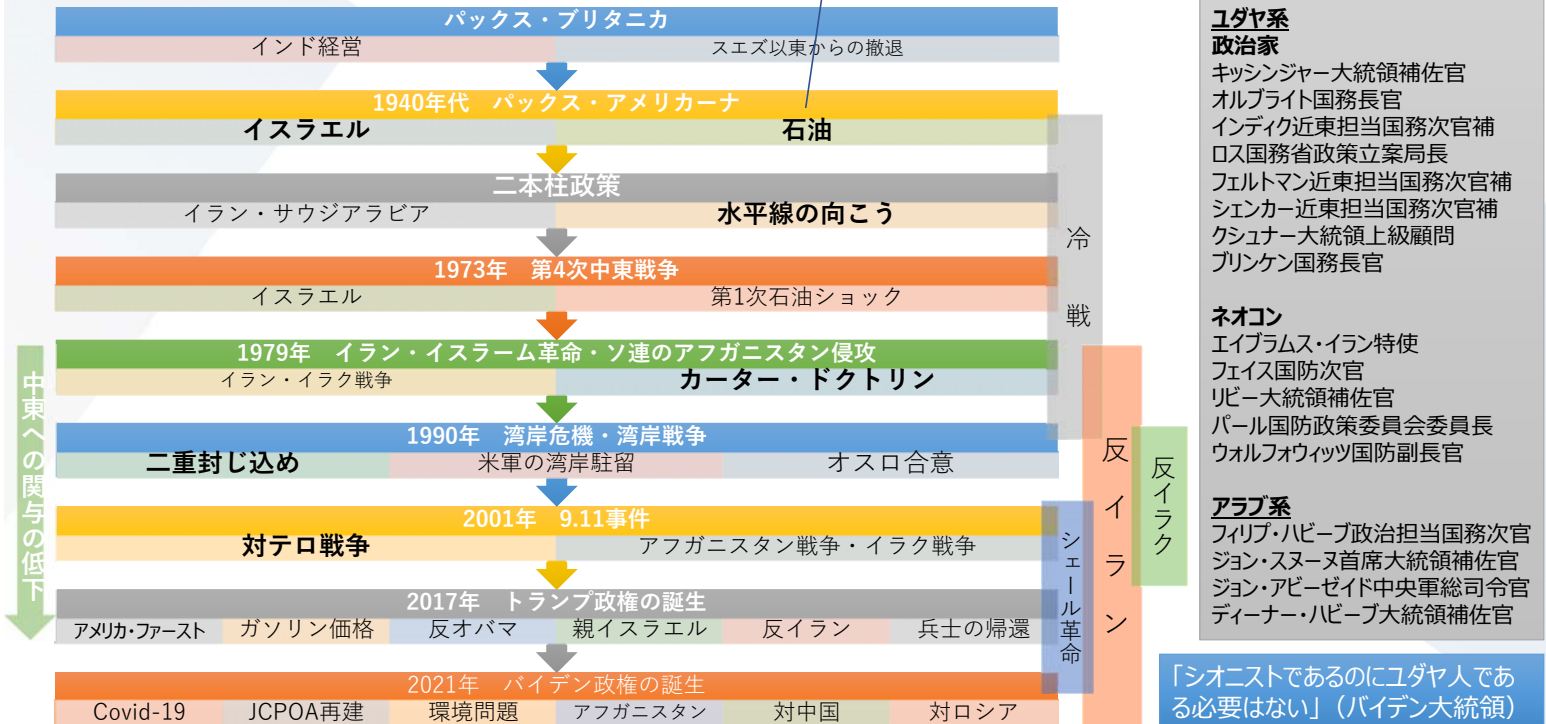
一般財団法人
日本エネルギー経済研究所
中東研究センター

保坂 修司

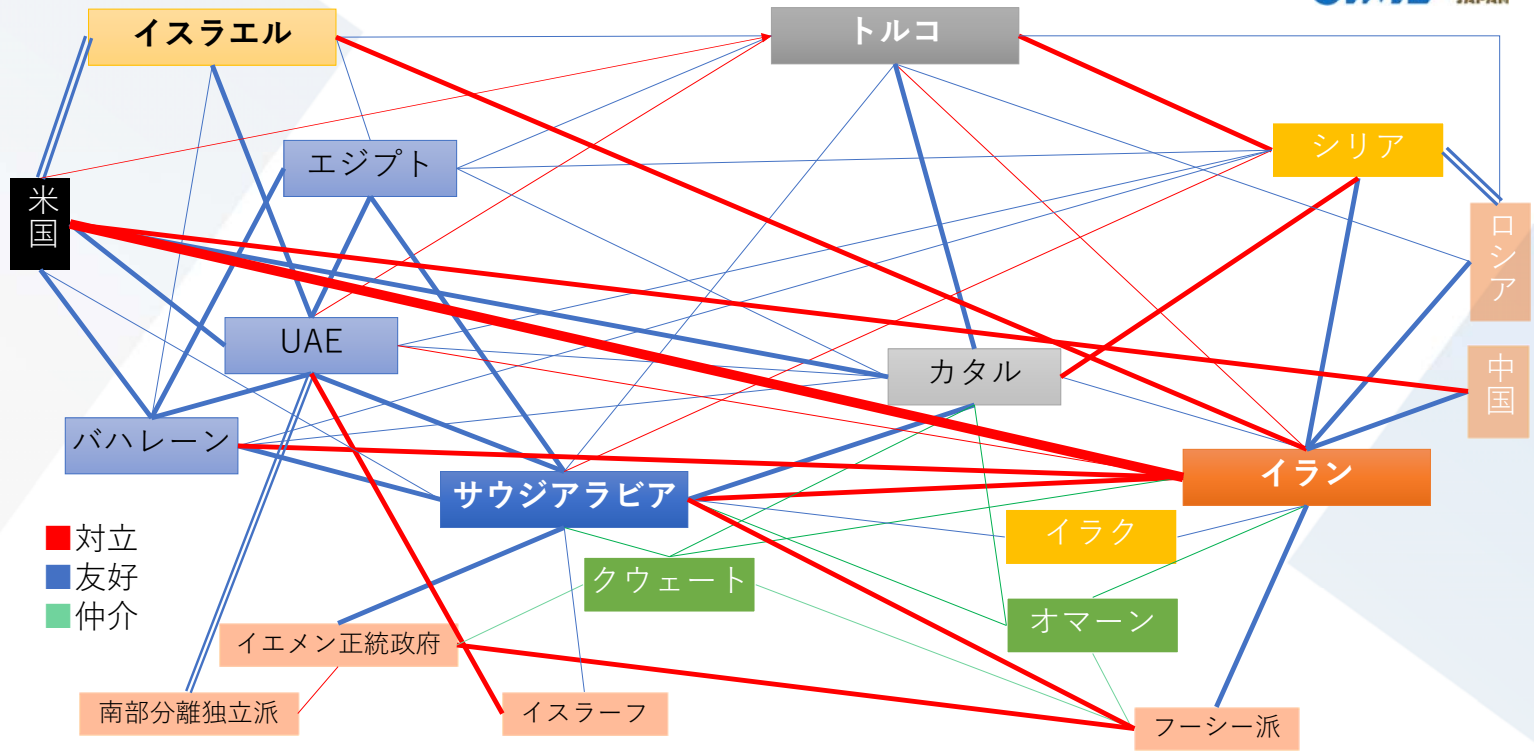
米国の中東政策の変遷

実際には石油の話はなし(?)

JIME-IEE JAPAN



中東三国志 (2022年)



バイデン大統領の中東歴訪

7月13日～16日 イスラエル・パレスチナ・サウジアラビアを訪問

- ✓ 大統領選公約における反トランプの「つけ」を解消できるか？
 - ✓ イラン核合意JCPOA復帰、イスラエル・パレスチナ二国家解決、イエメン戦争終結、サウジアラビア批判、気候変動
 - ✓ サウジアラビアと米国の和解？ ⇒ ハーショグジー事件の決着？
 - ✓ ウクライナ情勢への対応（エネルギー価格・食糧危機等）
 - ✓ 原油増産要請
 - ✓ 対ロシア・対中国牽制
 - ✓ イラン包囲網強化
 - イスラエルではイラン問題、安全保障問題を中心に協議
 - エルサレム宣言
 - I2U2 (Israel-India-United Arab Emirates-United States) サミット（経済中心）
 - パレスチナではアッバース大統領と協議
 - 民主党の二国家解決案と現状
 - サウジアラビアではサルマン国王・ムハンマド皇太子と会見
 - GCC+ヨルダン・エジプト・イラク首脳と会談（含個別会談）。
 - GCC・米首脳会談
- ❑ サウジアラビアをパーリアにする
 - ❑ 自分のカウンターパートは国王
 - ❑ 空港への出迎えは誰か？
 - ❑ MbSとの個別会談はあるのか？

米国・イスラエル・サウジアラビアは何を期待するのか？

米国はサウジアラビアに何を求めるのか？

- 原油増産（ガソリン価格低下へ（ガソリン税削減のほうが手っ取り早いのに））
 - 秋の中間選挙に向け人気回復
- 人権状況の改善（拘束されている米国人解放、ハーショグジー事件）
- 対イランでの協力
- 対テロ戦争での協力
- イエメン戦争終結への道筋
- 中国の進出抑止
- ウクライナ危機への協力

サウジアラビアは米国に何を求めるのか？

- ムハンマド皇太子との関係改善アピール（ハーショグジー事件の決着）
- 反イラン包囲網強化
 - JCPOA再建にサウジアラビアの要望を反映
 - イラン・イスラーム革命防衛隊外国テロ組織リストから外さない（イスラエルも同じ）
- 武器輸出制限解除
- 米国の対中東政策への不満を伝える

イスラエルは？

- 反イラン包囲網強化
- イスラエルとアラブ諸国の同盟強化
 - サウジアラビアとの関係正常化
 - イスラエル・サウジアラビア間の直行便就航
 - 紅海の安全保障
- アラブ諸国との共通市場創設

米国とサウジアラビアは何を得たのか？

ロシア・イラン・トルコ大統領がイランで会談（7月19日）

米国は何を得たのか？

- 原油~~△~~増産 ⇒ 油価上昇 = 中間選挙の行方？
- 人権状況の改善（拘束されている米国人解放、ハー~~△~~ショグジー事件でのMbS責任追及）
- 対イランでの協力
- 対テロ戦争での協力
- イ~~△~~エメン戦争終結への道筋
- 中~~△~~国の進出抑止
- ウ~~△~~クライナ危機への協力 = UAEの立場

フーシー派は拒否

- エルサレム宣言
- ジェッダ声明
- ジェッダ安全保障開発サミット最終声明
- GCC・米サミット最終声明

- 置いてけぼりのパレスチナ
- 2国家解決はほぼ死に体
- シーリーン・アブ・アークレの捜査も

サウジアラビアは何を得たのか？

- ムハンマド皇太子との関係改善アピール（ハー~~△~~ショグジー事件の決着）
- 反イラン包囲網強化
 - JCPOA再建にサウジアラビアの要望を反映
 - イラン・イスラーム革命防衛隊外国テロ組織リストから外さない（イスラエルも同じ）
- 武器輸~~△~~出制限解除
- 米国の対中東政策への不満を伝える

イスラエルは？

- 反イラン包囲網強化
- イスラエルとアラブ諸国の同盟強化（中東防空同盟）
 - サ~~△~~ウジアラビアとの関係正常化
 - イスラエル・サウジアラビア間直行便就航
 - 紅海の安全保障
 - ティーラーン・サナーフィール両島のサウジアラビアへの移譲承認
- アラブ~~△~~諸国との共通市場創設

ジェッタ声明

- 両国政府・国民の利益に資する戦略的パートナーシップを継続的に強化する重要性、さらにそのパートナーシップが何十年にもわたって域内の安全保障の基盤となってきたこと強調、両国がより安全で安定、繁栄し、世界と互換的に結びついた地域というビジョンを共有していることを確認した。そのほか、「エネルギー安全保障と気候変動」「グローバルインフラ投資パートナーシップ (PGII)」「安全保障と防衛」「5G/6GオープンRAN協力」「サイバーセキュリティ」「宇宙開発」「(紅海の) ティーラン島開発」「領空通過の拡大」「ビジョン2030」「域内協力 (イエメン、イラク、イスラエル・パレスチナ問題、シリア、レバノン、ウクライナ、スーダン、リビア、対テロ)」が含まれる。
- また、サウジアラビア・エネルギー省、投資省、通信省、保健省は米国側カウンターパートと合計18の合意を締結した。合意には投資、エネルギー、ICT、宇宙、保健などの分野が含まれている。

参考：主要発言

原油増産

バイデン：世界の経済成長を支えるためのエネルギー安全保障や適切な石油の供給について議論した。米国への供給を増やすためにできるかぎりのことをしているし、そうすると期待している。サウジ側も、今日の議論を踏まえ、緊急性を共有している。今後、数週間でさらなる措置が取られるのを期待している。

MbS：イランに対し域内諸国の内政に干渉しないよう呼びかける。サウジアラビアは原油生産能力を日量1300万バレルまで増加させるが、それ以上の追加増産能力はない。

イラン

バイデン：米国は、イランが核兵器を保有することを許さず、核兵器保有を阻止するため、最後の手段として軍事力の行使はありうる。域内の「空白」をロシア、中国、イランに埋めさせることはない。米国の利益が中東での成功にリンクしており、米国が域内との持続可能な経済関係を構築するためにつとめる。

ライシー大統領：イランは米国やその同盟国によって犯された過ちに対し厳しく、後悔するような反撃を行う。

ハッタージー元外相：イランは原爆を製造する技術的な手段を持っているが、製造する決定がイランによってなされたことはない。

中国

中国外務省：中東はいかなる国の裏庭でもない。中東には「空白」なるものは存在しない。

フェイサル外相：(サウジアラビアが中国からミサイル防衛システムを購入するかと尋ねられ) われわれは、われわれにとって必要なものでもっとも適したソリューションを見つけられるところであれば、どこからでもミサイル防衛システムだろうが、他のいかなる防衛用兵器だろうが、購入する。

ハーショグジー事件

バイデン：事件は自分自身や米国にとってきわめて重要、事件の責任について皇太子に質したほか、人権問題や政治改革の必要性についても協議した。(サウジ側は聞いていないと否定)

MbS：事件は遺憾。捜査から裁判、判決、判決の実施まであらゆる司法的な手順を取った。こうした過ちは、**米国を含め**、いかなる国でも起こるもの。(バイデンは否定)